

特別会計は、平成22年度国民健康保険特別会計予算他13件の予算が提案、審議され、全ての予算が可決されました。特に、平成22年度簡易水道事業特別会計予算においては、審議に入る前に、市長から発言の許可が求められ、「水道業務の包括的民間委託の選定結果」についての説明があり、次のような質疑、答弁がありました。

質疑 なぜプロポーザルとしたのか。提案見積り金額及び積算内訳書の評価点数や配点比率が低いのはどうしてか伺います。

答弁 水道料金収納業務を民間業務委託にしようとしたのは、水道料金収入がなかなか伸びない状況であり、また、老朽管更新や漏水修繕など様々な需要がある中で健全経営をしなくてはならないということと検討し、経費削減という目的を掲げ、民間委託を決断いたしました。

民間委託するにあたり、単に入札等々で金額によって決めるのではなく、現在職員が行っている業務内容、量を示し、業者からどのような水準で行うかを提案していただくためプロポーザルを採用しました。

評価点数や配点比率は金額だけではなく、他の項目との調整も図りながら、県内で既に民間委託している北上市を参考にしました。

質疑 審査員の一人ひとりの採点

内容を公表するべきではないか伺います。

答弁 市では、個々の構成員の方々の採点内容は、市の情報公開条例において公開しない事例として掲げられております。

質疑 業者選定の際の地域貢献に対する考え方の配点が低く、かつ一番配点の低いところを選定したのはなぜか伺います。

答弁 一定の業務の質、水準、サービス向上という点から提案された中で、それらがきちんと反映されている業者を選定しました。

質疑 実際に委託した場合どのような体制を想定しているのか伺います。

答弁 営業課で行っている業務に加えて、開閉栓業務を委託します。現在、すでに開閉栓業務は、地元

の工事業の皆様に委託しておりますが、プロポーザルで決定した受託者から再委託できるように協議していきたくと考えております。

質疑 他市のプロポーザルは経済

効果を考え、見積り金額等の評価を高くしていますが、それらを参考にしなかったのはなぜか伺います。

答弁 評価項目、配点についてはプロポーザルの実施要綱の定めがあり、その定めに従って審査、採点をしました。そして、集計をした結果、総合点数の最も高いところを最終受託候補者として選定しました。

質疑 プロポーザルについて地元紙に掲載され、市民からどのような声があったのか伺います。

答弁 市民の皆様からは、情報公開すべきという御意見をいただいております。地元と中央の業者が競って、地元でないところ、しかも提案金額の高い業者に決定したことについて、こういう結果でいいのだろうかという率直な声だと思っております。

質疑 協議会等、また規約を設けてプロポーザルにするのか、金額のみでの入札にするのかきちんと示すべきだったのではないかと伺います。

答弁 個々の業務の性質に基づき、プロポーザルにするべきか精査していくことが必要であり、情報公開についても要綱等設定すべきだったと考えます。

質疑 今後、プロポーザルで契約する場合の基準を明確にすべきと思いますが、どのようにお考えか伺います。

答弁 プロポーザルに係るガイドラインの作成が必要だと思います。情報公開についても市民の信頼、安心を得られるよう一連の取り扱いに十分配慮し、評価の仕方についても市民にわかりやすく説明できるように、熟度の高いものを目指さなければならないと思います。

※プロポーザルとは…業務等の委託先を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。
「プロポーザル（proposal）」は「企画、提案」の意味。

この後、簡易水道事業特別会計予算の質疑、反対討論、賛成討論が行われ、起立採決では、賛成19人、反対17人の結果となりました。なお、平成22年度水道事業会計予算も起立採決が行われ、同様の結果となりました。

